



また、昨年小平地区で予定されていた防災訓練は台風の接近で中止されましたが、実地訓練は最も重要な防災対策であることから、町内会員のご理解とご協力をいただき9月上旬に防災避難訓練を実施する予定であり、加えて各避難所の標識設置や防災資機材の充実を行います。

◆公共交通体系につきましては、人口減少や高齢化が進む中、再構築に向け検討する時期だと感じています。

公共交通は、経済産業活動を支える基盤であるとともに、子供、高齢者、障がい者等の交通弱者の通学・通院等に必要なライフラインです。路線の維持が困難な地方路線においては、運賃改定等によって経済力が弱い交通弱者の生活に打撃を与え、利用者の減少にもつながり、その結果、減便や路線の廃止・縮小等、輸送サービスの更なる低下が懸念されます。

こうした課題解決のため、本年度において国の補助事業により、スクールバスの運行も含め、効率的な公共交通体系を模索するため、「地域公共交通調査事業」を実施します。

(その他施策)

- ① 下水道区域外の合併浄化槽の設置補助及び下水道施設の適正な管理
- ② 配水施設更新による安全・安心な水道水の供給

- ③ 町道の維持管理・整備・補修
- ④ 除雪車輛の更新
- ⑤ 公営住宅の適正な管理
- ⑥ 住宅改修費の一部助成制度及び住宅新築助成金制度の継続



福祉施策

◆本年度におきましては、乳幼児医療費の助成を中学生まで拡充し、保護者の医療費負担の軽減と子育て環境の充実を図り、将来を担う子どもたちに安心を提供します。

◆障がい者施策については、平成22年度に障害者自立支援法が改正され、本年4月1日から完全実施となり、これまで各都道府県が実施主体でありました相談支援業務や、自立した生活を送るための支援業務等を生活基盤である市町村が担うこととなり、本年度はこれら業務への体制整備や対象者の実態把握等、障がい者の福祉サービスが滞ることがないよう支援業務の円滑な実施に向け努めます。

主な施策内容	予算額
高齢者等無料バス委託	2,640千円



医療・介護施策

◆町内各診療所の医療機器整備について、施設の維持や医療機器等の最新化に努めており、本年度は、鬼鹿診療所の超音波診断装置更新や、小平歯科診療所のX線画像デジタル化機器整備等を予定しており、的確な診療により、町民の健康保持に大きく貢献できるものと期待しています。

◆医療費の抑制を図ることは、小平町国民健康保険特別会計の健全運営にもつながることから、疾病の早期発見・早期治療を目指し各種検診等の充実と受診勧奨を一層強め、各町内会や各産業団体等の理解と協力を得ながら、受診率の向上対策を進めます。

◆後期高齢者医療制度もスタートして4年が経過し、2年ごとに保険料の見直しを行うこととなり、本年度からの保険料が均等割で約7.9%、所得割で約0.3%引上げ改定され、被保険者の皆様には負担の増額をお願いすることとなります。

本制度は、各都道府県を一つの保険者として、それぞれの保険者ごとに実態に応じた保険料を設定することになっており、北海道におきましては、医療費の増高が大きな要因として、今回の改定に至りました。医療費の抑制対策としては、国民健康保険特別会計

主な施策内容	予算額
各診療所医療機器購入	13,514千円
各種予防接種助成事業	5,246千円
各種検診委託	5,072千円
乳幼児医療費助成(拡充分)	2,610千円

や各関係機関との連携を図りながら、後発医薬品(いわゆるジェネリック医薬品)の普及や、各種健診の積極的受診による早期発見・早期治療により、医療費の適正な執行に努めます。

◆介護保険では、本年度から第5期介護保険事業計画がスタートすることとなり、第5期事業計画では、介護関連サービス施設も町内に充足され、要介護者数も極端な増加にはならないと推計し、期間中の保険料を前期同額で据え置くこととしました。

◆特別養護老人ホーム愛生園については、町の福祉産業として、地域の活力となるよう介護サービス施設の適切な運営を図り、愛情と情熱をもって、利用者や町民に愛される「安全・安心」で快適な施設環境に努めます。